

つどい



卒業50年と古稀を祝う

昭和35年卒同期会

秋田高校昭和三十五年卒業生の「卒業五十周年と古稀を祝う会」は八月十二日、秋田市のイヤタカで七十六人が出席して開かれた。

当日は台風四号秋田県上陸というあいにくの気象条件だったが、県外からの二十名を含め、予定者全員が出席した。学校側からは菊谷二校長、恩師は当時三年E組担任の山谷浩二先生が元氣な姿を見せてくれた。

校歌斉唱、あいさつの後の乾杯は、この日参加した女子三人や遠方からの参加者がステージに並び、声高らかに、杯を上げた。
昭和三十五年卒業生は、三年間秋田駅前で授業を受けた最後の生徒。当時の話や近況に話が弾んだ。

記念誌発行 35年卒3Aクラス会



六月二十五日秋田市の「秋田温泉さとみ」で、卒業五十周年記念と古稀の祝いを兼ねてクラス会を開催した。クラス会は毎年開催しているが今回の参加者は十九名、物故者も五名になった。
卒業三十周年と四十周年に引き続き五十周年記念誌も発行した。十年後の記念誌発行は困難と思われるので三冊まとめて同窓会館資料室に置かせてもらうことにした。

(齋藤紀明 記)



伊藤、武田両先生出席

昭和42年卒同期会

昨年(昭和41年)九月の第一土曜日に固定をした昭和四十二年卒同期会、今年(昭和42年)九月四日、協働大町ビルで開催された。出席者は昨年より二割多い七十三人。開宴に先立ち記念写真を撮影。

続いて全員で校歌を斉唱、卒業後久しぶりに出席をいた

だいた恩師伊藤仁先生と同期会皆勤の快挙が続く武田武志先生から近況や担任当時の思い出話が披露された。

東京同期会から駆けつけてくれた畑山康幸君の「整いましたー」に始まるユーモラスな音頭で乾杯。猛暑続きで渇いた喉に生ビールはしみわたる、あちこちから「うっめー」の声が生々しい暑さのなかの日も三十度近い暑さのなか日中は親善ゴルフコンペで汗

四氏から元氣と感動をもらおう

三三三会―昭和33年卒同期会

を流した仲間も多く、冷えたビールの味は格別だったようだ。
参加者たちは皆幸せそうな笑顔を浮かべながら四十数年の昔に戻ったり、近況を確かめあったり、酒を肴の話は尽きることがなかった。最後に当時の応援団長池田和男君のリードで校友会歌を声高らかに歌い、再会を約して宴を締めくくった。

(石井 仁 記)



今年の「三三三会」は九月十日(金)ホテルメトロポリタン秋田で青山成美先生・畑澤潤一先生をお迎えし、四十名(東京他県外から六名)の方々と共に開催。
工藤雄一幹事の「秋高校歌にまつわることがら」の講演でスタート。校歌の作曲者ほどのようにして選定されたかの推論を、初めて伺い、おおいに参考となりました。
物故者への黙祷、会務報告、同窓会報告、収支報告があり承認。この一年間慶事のあった渡辺正典氏・菅原英一氏・村田純治氏・古田重明氏のご紹介と、ご挨拶をいただき、いっばいの元氣と感動を与えていただきました。このあと、時を忘れて懇談。楽しいひとときを過ごすことができました。

(佐藤満雄 記)